

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	17 - デ学 - 10
-----------------	--------------

平成17年度配分 研究成果の概要

研究名	電動車イスから創る新しい価値と地域社会づくり 時速6km/h以下のマイスタイルを創る -1-				
配分を受けた 特別研究費	デザイン学部長 特別研究費 973 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の 場合の分担
	デザイン学部	生産造形学科	教授	河岡徳彦	コンセプトデザイン
共同 研究 者	デザイン学部	生産造形学科	助教授	迫 秀樹	人間工学
発表の方法 (予定で可)	① 紀要		号数	第 6 号 (2006年 3月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

高齢化社会に於ける移動の自由は健康者とハンディーを持つ人達と2極に分かれる傾向にある。特にハンディーを持つ人達に対する移動の支援はサイボグ化の提案が大半である。本提案は人の自然の営みから自由を奪わずリハビリやトレーニングを兼ねた支援が可能な次代の電動車いすの提案

(研究の実施方法等)

コンセプト立案に於てプロダクトデザインの授業と1回の実施(学部長承認)、平17年度はコンセプト立案に集中

- | | | |
|--------|----------------------|---|
| ステップ 1 | コンセプト立案 / コンセプトの作り込み | 新 |
| ステップ 2 | 1/4人形モックアップモデル | 新 |
| ステップ 3 | モデルデータ化及びモデル化 | |
| ステップ 4 | 自作モデル | |

(得られた成果等)

研究の目的及び運営実施について「総要6」にまとめ、次ステップ移行について、評価調整中であるが、歩行能力向上(速く歩けるための)トレーニングを兼ねた歩行支援電動車いすの新方向が裏付けられた。